

地下水の現況

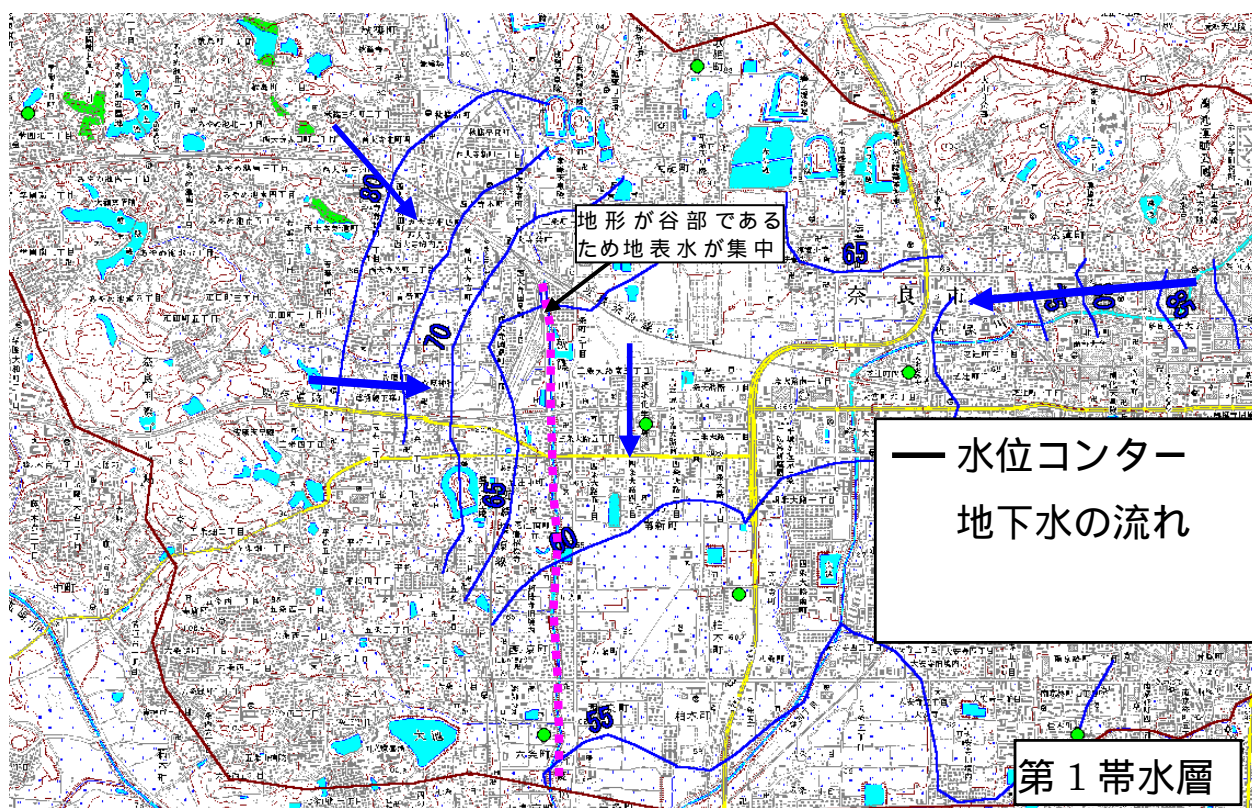
1.地下水検討委員会での報告

地下水流況の分析

解析対象地域の地下水流は南北方向への流下を基本とした状態であるが、東西端部に近づくにつれて、地形の影響を受け、西 東、東西の方向の流れとなっている。

秋篠川は表面の地形が低くなっている部分であり、地表の水が集中してくる状況にある。

国道 24号付近は、地中の地層形状の影響等もあり、地下水流の谷部となっており、ここでの地下水流の流下方向は主に南北になっている。



(地下水検討委員会資料より抜粋)

2.地下水位の観測状況

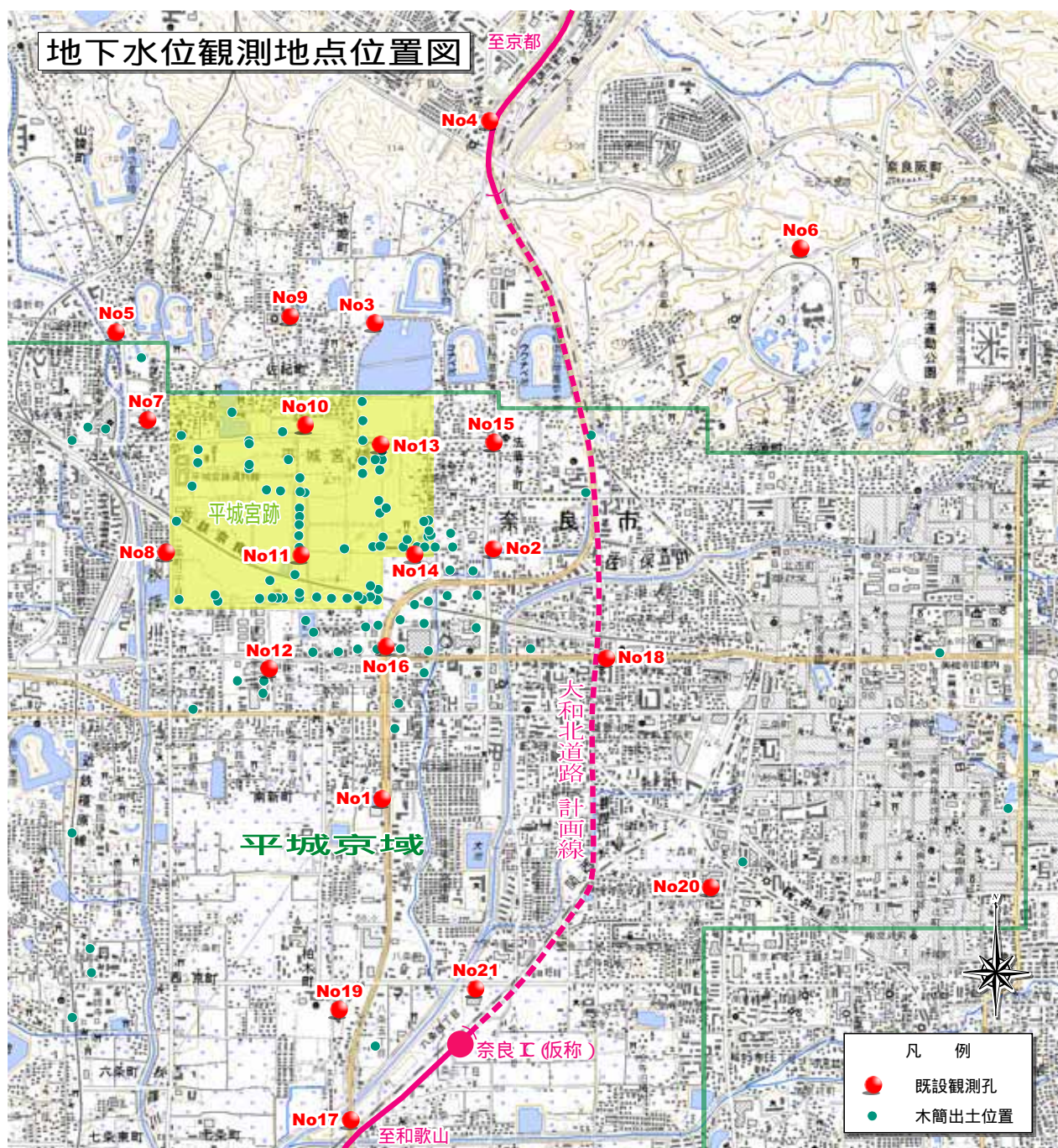
地下水位観測位置

平成9年度観測開始(6箇所)
平成11年度観測地点10箇所追加(計16箇所)

<平成13年7月～平成14年3月 ……地下水検討委員会開催>

平成16年度観測地点1箇所追加(計17箇所)
平成17年度観測地点4箇所追加(計21箇所)

現在21箇所で地下水位観測中



地下水の水位変動 (第1帯水層)

定期的な取水等による明瞭な水位低下は見られず、降水に対して敏感に反応した水位変動を示す。

